2023-24 Weekly Report

Rotary

District 2770 ROTARY INTERNATIONAL

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第 2770 地区　第 8 グループ　越谷北ロータリークラブ

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度国際ロータリーテーマ　「世界に希望を生み出そう」　RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度越谷北 RC 会長提言　「奉仕の心でつなぐ希望の輪」　越谷北 RC 会長　大濱　裕広

- 例会日　毎週水曜日　12：30～13：30
- 例会場　越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
  ＴＥＬ　048（975）９８９８
  ＦＡＸ　048（977）３７４１
- 創　立　1976 年 5 月 11 日
- 会　　長　大　濱　裕　広
- 副　会　長　小宮山　大　介
- 幹　　事　市　川　洋　和
- 会報委員長　近　藤　慎　悟

第 2316 回　例会記録　No. 25

令和 6 年 2 月 21 日

司会：今井　英治　　編集：近藤　慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング　「それでこそロータリー」
3. ロータリーの目的
4. お客様紹介
   米山記念奨学生　倪　楓苹　様
5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. 3 分間ロータリー情報
8. 委員会報告
9. 会員卓話『私の趣味について』
10. 出席報告

【次回例会案内】

令和 6 年 3 月 6 日（水）

結婚記念・誕生日祝い

四つのテスト

月間卓話

（予定）米山月間に因んで

会長挨拶

大濱　裕広　会長

皆さん、こんにちは。本日も多くの会員の皆様にご出席いただき、ありがとうございます。

会長挨拶の前に、先週の例会後、天草病院に入院しています吉澤会員に、市川幹事と共に面会に行ってまいりましたので近況報告をさせていただきます。

久しぶりに会った吉澤さんはとても元気でした。まだまだリハビリをしないと、歩行などの問題もありますので、退院までは時間がかかると言っていました。もうすでに一か月ほど入院しており、毎日が退屈なのと何時頃退院できるかわからない不安とかで辛い時があると仰っておりました。病院の先生には歩行器を使い元気なところを見せて一日も早く退院できるようアピールしているそうです。

一日も早く退院して皆様とお会いしたい、例会に出たいと仰っておりました。本来なら 30 分の面会時間でしたが、色々と話がはずみ、1 時間以上もそこにいました。

皆様も、お時間あれば吉澤さんに面会して元気を与

えてあげていただければと思います。

市川幹事が吉澤さんの近況を携帯で撮ってきましたのでご覧ください。

それでは、会長卓話とさせていただきます。

本日は、2 月平和と紛争予防・紛争解決月間ということで、世界の紛争について調べて参りましたのでお話をさせていただきたいと思います。

そもそも、なぜ紛争は起こるのかというところですが、それには様々な要因があります。紛争は、宗教の名のもとに引き起こされる対立や、民族や文化の違いに対する不寛容から生まれる対立によって起こることがあります。また、国境が不明確なために起こる紛争や、政権に対する不満を抱えた人々が反対運動を起こし、それが武力衝突に繋がることもあります。さらに、軍によるクーデターなどをきっかけに、武力行使が行われる場合もあります。大国をはじめとする外国の勢力が、何らかの政治的理由から武力行使を行い紛争が起こるきっかけとなることもあります。ほかにも、鉱物や土地などを巡って争いが起こり、武力紛争に発展する場合もあります。例えば、パソコンなどに使われているレアメタルなどの希少な鉱物を巡って各地で紛争が勃発します。また、気候変動の影響などが原因で水不足や農作物の不作が起こると、貴重な水資源や農耕地をめぐる紛争も起こります。生活ができなくなった人々が移住を余儀なくされ移住先で対立が生まれる場合もあります。

そして、紛争が人々に与える影響は多岐にわたります。長引く紛争によって、国内では武器や弾薬などが優先的に生産されます。市民が生産した食料も軍隊に優先的に配布されますので、民間人への対応は後回しとなります。また、空爆や地雷などで農地が壊滅的なダメージを受ければ、食料の生産自体ができず、作物の収穫ができなくなればそれを売って生活をしている人々の収入源は無くなってしまうため、貧しい生活を強いられています。また、被災した子供達は学校がなくなり、住む場所を離れたりして、教育を受けられなくなり、生きていく知恵や機会を失ってしまうためより、貧困になっていくという負のスパイラルとなっていきます。

さらには、大きな問題である食糧不足は、紛争が発生している国々だけでなく、間接的にも世界で影響がみられます。

今現在起きているウクライナ戦争が原因で、アフリカ諸国で食料不足が問題となっています。これは、ロシアとウクライナが世界の穀物生産の 25%を担っている一方で、アフリカでは 85%を輸入に頼っているためです。ソマリアでは小麦の 9 割以上はロシアとウクライナから調達しています。国連 WFP においても飢餓、飢饉の原因として①紛争②気候変動③コロナなどパンデミック④価格の高騰を挙げており、ウクライナ紛争から急速に食糧不安が拡大していると示しています。それだけでなく、紛争地域では戦闘による負傷者が増え、一般手市民への医療が追いつかなくなっており、爆撃によって機能していない病院もあり、医療従事者や薬も不足しています。このような問題によって、本来なら治療できる病気でも栄養不足が原因で命を落とすことが多くあるということです。医療体制や衛生環境が整っていないことで感染症も蔓延します。今現在、100 近い国と地域が紛争に関係しております。

(1)1978 年～アフガニスタン紛争

累計死亡者数 200 万人　アメリカとタリバン勢力

2001 年 9.11 アメリカ航空 11 便を始めとする 4 機の航空機がハイジャックされ、世界貿易センタービル、ペンタゴンに突っ込む大事件から始まっています。同時多発テロが原因で、オサマビンラデインをリーダーとするテロ組織アルカイーダが関与していました。アメリカが開戦に踏み切り 2021 年 8 月バイデン大統領は

国際ロータリー会長提言 「世界に希望を生み出そう」
越谷北ロータリー会長提言 「奉仕の心でつなぐ希望の輪」
越谷北ロータリークラブ 検索
https://koshigayakita-rc.jp/

戦争終結を正式に宣言。アフガニスタンはいまだ混乱状態は続いています。

(2)2011 年～シリア内紛

シリア全土 50 万人　政府軍とシリア反体制派

シリア内紛はシリア政府軍(アサド政権)、反政府軍、イスラム国と三つの勢力が争っています。11 年以上もたった今も終わらず、恐怖におびえた人々がいます。

(3)2003 年～イラク内紛

イラク全土 30 万人　アメリカとイラク

(4)1984 年～クルド対トルコ紛争

クルド人居住地域 5 万人　　トルコ政府とクルド人

トルコ軍がクルデイスタン労働党へ攻撃をかけたため、武力紛争が発足 2011 年激化。2022 年 2 月にトルコ軍が敵対するクルド人武装勢力に対する掃討作戦として、隣国のシリアとイラクで大規模な空爆を行うなど現在も争いが続いています。

(5)2011 年～リビア紛争

リビア 2 万人　　トリポリ政府とトブルク政府

2011 年におこった大規模な反政府勢力のデモが発端です。この争いにより 40 年以上最高権力者として政権を握っていたカダフィ大佐が命を落としてしまいます。2014 年にはイスラム過激派の勢力が強大化し、空港周辺でロケット砲を打ち合う大規模な戦いが起きました。直近では 2019 年 4 月にリビア国民軍がトリポリへの進軍を宣言しました。

(6)2015 年～イエメンサウジアラビア　リヤド

累計死亡者数 2 万人　ハーデイー大統領フーシ派アンサール・アル・シャリーア 37 万人

(7)2022 年～ウクライナ　　ウクライナとロシア

2022 年 2 月 24 日ウクライナへの軍事侵攻を開始。2024 年現在も侵攻は続いています。今現在も約 2 万人の死亡が確認されております。

ロシアは欧米の脅威に対抗するという正当防衛を主張、ウクライナが NATO への加盟を反対していることも理由の一つです。

2 月の月間に平和と紛争予防・紛争解決月間としておりましたので、このような話をさせて頂きました。私たちが出来ることはどのようなことがあるのでしょうか。

出来ることは、限られていますが、紛争地域への支援活動として、国連や NGO などを通じて募金や物資の支援をすることくらいしかできませんが、このように今現在も凄惨な状況があるという事実を知ることも大切ではないかと思います。

無関心でいることは、世界で起こっている紛争を黙認してしまうということです。まず、事実を知り、周囲へ伝えることで平和への意識の高まりにも繋がると思います。

本日は平和と紛争予防・紛争解決についてお話させていただきました。

幹事報告

市川　洋和　幹事

（地区より）

・2025-2026 年度派遣ロータリー財団奨学生募集のご案内がきております。掲示板に掲示しておきます。

・越谷南ロータリークラブより、ポリオ根絶越谷南ロータリークラブ創立 50 周年記念ゴルフコンペのご案内がきております。こちらは個別にご案内させて頂きます。

（クラブより）

・先週第 8 回理事役員会を行いました。審議事項の議題で最終例会の日程が 6 月 26 日水曜日から 6 月 27 日木曜日に変更となりました事をご報告致します。議事録を掲示板に掲示しておきますので、ご確認下さい。

3 分間ロータリー情報

新沼　徹　会員

「ガザ地区とインターアクターの平和交流　武田中学校高等学校 IAC」（※ロータリーの友 2 月号より抜粋）

東日本大震災の際に、パレスチナ自治体ガザ地区の人たちが、被災者を励まそうと、たこを揚げてくれたことがありました。それをきっかけに始まった交流が、縁あって当クラブにもつながり、ガザの中学生とのオンライン交流が始まりました。元々、武田中学校高等学校インターアクトクラブ（IAC）では、ガザでの教師経験を持つ顧問のアシュリー・サウザー先生（アメリカ出身）が、以前より生徒たちにガザ地区の状況を話してきたことから、生徒たちの関心は高く、オンライン交流とはいえ、リアリティーのある体験となっています。

●続くガザ地区の中学生とオンラインで交流

オンライン交流では、しばしば将来の夢の話になります。ガザの子どもたちは「医者になって地域の人々を助けたい」「学校の先生になって子どもの学力を高めたい」「エンジニアになりたい」など、明確な夢を語ります。対して日本の子どもたちは「自分たちは何でもできるのにやりたいことが分からない。ガザの子たちは夢があってすごい」と感想を述べます。

そんな折の 2023 年 10 月 6 日、ガザに住む 3 人の中学生と直接交流できる機会に恵まれました。日本が国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の支援 70 周年記念事業として、ガザの子どもたちが日本を訪れるツアーが催行されることになり、これまでガザの中学生と交流を持ってきた本校に声がかかったのです。

●若者の国際交流が生み出す「平和」

交流会の 1 時間目、本校グローバルスタディーコース（GS コース）の生徒による琴（こと）の演奏に始まり、当クラブがこれまで行ってきたガザ地区との交流の歴史、GS コースが独自に行う平和学、広島学を紹介。2 時間目は、ガザの子どもたちが柔道を体験。柔道部員から、柔道の精神、受け身の重要性、技のかけ方などの説明を受け、ガザの子たちは、生まれて初めて柔道着を着て、受け身や大外刈りに挑戦しました。ガザでは、体育で格闘技、ましてや女子が格闘技をすることは珍しいようで、熱心に、そしてうれしそうに取り組んでいました。その後、美術部員のサポートの下、トートバッグに自分の好きなアニメのキャラクターをデザイン。ドラえもんやピカチュウなど日本のアニメキャラクターを選び、作業に打ち込んでいました。日本のアニメに興奮する様子に、子どもらしさを垣間見ることができました。

そしてメインイベント「ガザの声を聞く。」日々感じていることや、世界に向けてのメッセージを発表してもらいました。日々、命の危機にさらされていること、近しい人々の死、電気が 1 日 6 時間しか使えない事、ガザ地区から自由に外出できないこと。特に「私たちが望んでいることは、皆さんが当たり前に持っている『人権』を与えられることです」という言葉は印象的でした。そして口々に教育の重要性やありがたさ、教育こそが希望の光だと話していました。生まれた時から紛争下で常に厳しい状況に置かれながらも、希望を持って将来の目標を力強く語るガザの生徒たちは、インターアクターをはじめ、本校生徒に大切な学びを与えてくれました。

委員会報告

親睦活動委員会　小林　巧　副委員長

毎年恒例の観桜例会がございます。日付は 3 月 27 日 17 時半受付 18 時開始となっています。場所は精養軒です。昨年とは異なりますのでご注意ください。浪江 RC さんも参加されるので皆様も是非ご参加ください。

新会員歓迎会を開催致します。3 月 13 日 18 時から南越谷ココチ―ノで行います。加治会員、石井会員、深

野会員の 3 名の歓迎を行いますので皆様ご参加お願い致します。

会員増強維持委員会　今井　英治　委員長

通年で会員増強を皆様にご協力頂いております。現在5050 運動として、50 周年には 50 人以上の会員で盛大に行うという目標を掲げておりますので、皆様ご協力を是非お願い致します。

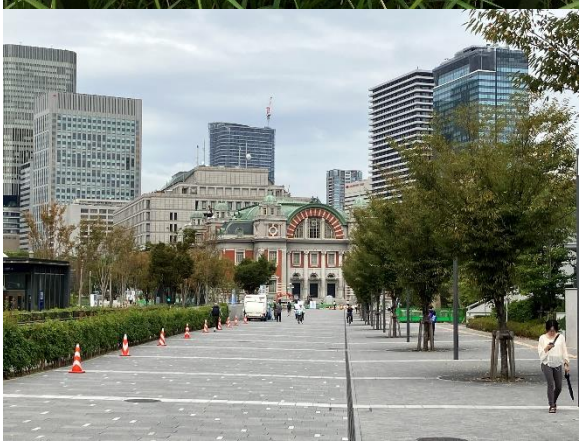
会員卓話

中村　隆雄　会員

『私の趣味について』

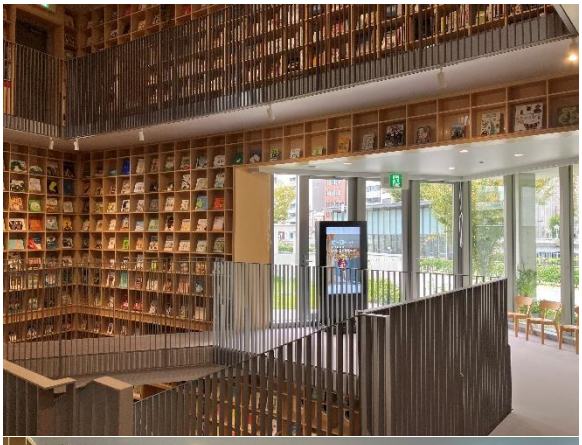
会社・事業の沿革、ロータリーに入った経緯や入会後の活動、ヘルニアや怪我をしてしまった時のお話をされました。その後、趣味の旅行の話として、昨年秋に行かれた大阪北区中之島で大変気になった建物である「こども本の森」のお話をされました。

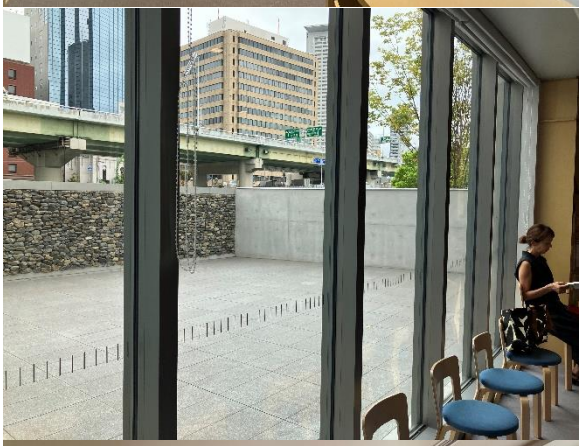
こども本の森は大阪出身の著名な建築家である安藤忠雄氏の作品だそうです。



国際ロータリー会長提言　「世界に希望を生み出そう」
越谷北ロータリー会長提言　「奉仕の心でつなぐ希望の輪」

越谷北ロータリークラブ　検索
https://koshigayakita-rc.jp/





国際ロータリー会長提言 「世界に希望を生み出そう」
越谷北ロータリー会長提言 「奉仕の心でつなぐ希望の輪」

越谷北ロータリークラブ 検索
https://koshigayakita-rc.jp/

スマイル報告

・暑くなったり寒くなったりと体調くずさないよう皆様ご自愛下さい。本日も宜しくお願いします。

大濱　裕広

・中村さん卓話宜しくお願いします。楽しみにしています。

大濱　裕広

・中村会員、本日卓話楽しみにしています。

市川　洋和

・中村会員、本日卓話楽しみにしています。

江口　公晴　太田　靖彦　鈴木　英男
宮﨑　敏博　松﨑　義一　今井　英治
櫻井　保彦　須賀　篤史　大熊　正行

・お客様ようこそ。中村さん卓話宜しくお願いします。

関　雄二郎

・今日はカメラマン代行です。デブがちょろちょろしますが、お許しください。

小宮山　大介

・今日は冷えますね。

中澤　伸浩

・本日宜しくお願いします。

松井　昭夫　佐藤　要　渡辺　裕介
大塚　具視

・本日例会宜しくお願いいたします。

中村　隆雄

・誕生日祝いありがとうございました。

加地　昭俊

・誕生日祝いありがとうございます。

髙橋　陽一

出席報告

会員数	43 名
出席者	38 名
出席率	97.4 %

国際ロータリー会長提言　「世界に希望を生み出そう」
越谷北ロータリー会長提言　「奉仕の心でつなぐ希望の輪」
越谷北ロータリークラブ　検索
https://koshigayakita-rc.jp/